

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立宮原中学校  
(宮原中学校区)

全国平均値との差

|                | 国語   | 数学   | 理科   |
|----------------|------|------|------|
| 呉市教育振興基本計画〈指標〉 | +5.0 | +5.0 |      |
| 令和8年度          | —    | —    | —    |
| 令和7年度          | —    | —    | —    |
| 令和6年度          | —    | —    | —    |
| 令和5年度          | —    | —    | —    |
| 令和4年度          | 0    | -7.4 | +0.7 |

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

|  |   |
|--|---|
| <p><b>国語</b></p> <p>本校 <math>\frac{69}{69}</math> %<br/>全国 <math>\frac{69}{69}</math> %<br/>県 <math>\frac{69}{69}</math> %</p>             | <p><b>重点課題</b></p> <p>◎文章中に使われている表現方法についての理解度が低いことが課題である。(設問3一)【言葉の特徴や使い方に関する事項】(全国平均との差-18.3)<br/>◇場面の展開や、情景描写や心情描写からみた登場人物の心情把握の読み取りに課題がある。</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎説明文や小説において多く見られる、比喩や言い換え等の表現方法の知識を定着させる必要がある。そのために、教科書教材で出てきた比喩表現を、その都度確認したり、小テスト等を反復実施したりして身に付けられるよう指導する。<br/>◇表現については、心情がわかる表現について基礎事項を指導する。また、小説教材のたびに確認し、描写を根拠に心情を読み取らせる。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問3一)の類似問題を全学年で実施(11~12月) 目標60%<br/>全国学力(設問3三)の類似問題を全学年で実施(11~12月) 目標70%</p>  |
| <p><b>数学</b></p> <p>本校 <math>\frac{44.0}{51.4}</math> %<br/>全国 <math>\frac{51.4}{50.0}</math> %<br/>県 <math>\frac{50.0}{50.0}</math> %</p> | <p><b>重点課題</b></p> <p>◎事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。(設問8(2) 全国正答率との差-12.1%)<br/>◇一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題がある。また、与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取ることに課題がある。</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎様々な問題を数学的に活用して解決できるようにする際に、問題解決の方法に焦点を当て、「用いるもの」と「その用い方」について考え、説明できるように指導する。その際、実際に行った解決の過程を振り返り、そのときに用いた方法について、「用いるもの」や「用い方」のいずれか一方の説明にとどまらず、その両方を指摘し、的確に説明できるように指導する。<br/>◇関数関係にある表を式に表したりする活動や、値の変化の様子を調べ、式とグラフの様子を関連付けて捉える場面を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問8(2))の類似問題(第2学年2月) 目標50%</p>  |
| <p><b>理科</b></p> <p>本校 <math>\frac{50.0}{49.3}</math> %<br/>全国 <math>\frac{49.3}{49.0}</math> %<br/>県 <math>\frac{49.0}{49.0}</math> %</p> | <p><b>重点課題</b></p> <p>◎「地球」を柱とする領域について時間的・空間的な見方を働かせ、観察結果や資料を基に規則性や関係性を見いだしたり、過去に起きた、又はこれから起こると考えられる事象を推論したりすることに課題がある。「地球」を柱とする領域の全国平均との差-5.3%(設問6(3)全国平均との差-15.8%)<br/>◇実験や観測データを整理・分析し、その内容から分かったことや気付いたことをまとめる力に課題がある。</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎地球に関わる内容については、過去の実際の資料を用いながら、地球上で起こる事象について規則性や関連性を見いださせる活動を設定する。また、未来に起こりうる事象について、過去の規則性と関連付けながら表現する活動を設定する。<br/>◇設定した課題に対して仮説を立てさせ、得られた実験結果を基に考察をする場面を意図的に設定するように計画的に単元構想を行う。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問6(3))の類似問題(第1学年2月) 目標60%<br/>資料の活用に関する学年末テストの問題(第3学年1月, 第1学年2月) 目標70%</p> |

【来年度に向けて】